



## ビブリオバトルワークショップを 開催します

ビブリオバトルとは、「知的書評合戦」とも呼ばれています。「バトル」と呼ばれる発表者が、読んでおもしろいと思った本を紹介し合い、観覧者を含めた全員でディスカッションします。最後に「どの本が一番読みたくなったか」を投票して、チャンプ本を決めるというコミュニケーションゲームです。発表者だけでなく観覧者も投票に参加できる楽しいイベントです。



中央図書館では、昨年まで「ビブリオバトル交流戦」を開催していましたが、今回は、ビブリオバトル普及委員会の委員で、東京都立立川国際中等教育学校の杉山和芳さん(学校司書)を講師に、ビブリオバトルワークショップを開催します。前半は講師による発表内容のまとめ方や楽しむコツなどの講義を聞き、後半はバトルが簡単なビブリオバトルに挑戦します。講師が楽しく教えてくれるので初めての方もぜひご参加ください。

- ①発表者(バトル)＝市内全中学校生徒 ②観覧希望者＝どなたでも  
時 令和6年3月26日(火)午前9時30分から  
場 女性総合センター5階 第3学習室  
定 ①10人程度 ②30人程度  
用 ①②いずれも2月14日(木)までに直接または電話で中央図書館 ☎(528)6800へ

※くわしくは図書館のホームページをご覧ください。

## 図書館におけるインターネット音楽配信サービス 「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」 CDとは全く異なる音楽体験ができます

ご自身のPC、スマートフォン、  
タブレット等でクラシック音楽を  
音楽に楽しんでみませんか？



### 公共図書館の導入館で、立川市は全国トップクラスの利用実績

立川市図書館では、平成31年より、インターネット音楽配信サービスを導入し、多くの方にご利用いただいています。

音楽配信はナクソス・ミュージック・ライブラリーというクラシックを中心としたサービスです。市内図書館で配布するIDとパスワードでログインすると、CD16万5千枚、256万曲以上のクラシック音源がご自身のPC、スマートフォン、タブレット等でいつでも、どこでも聴き放題となります。

### 利用方法

図書館利用カードをお持ちになり、お近くの図書館の窓口にお越しください。ナクソス・ミュージック・ライブラリー・ホームページにログインしてご利用いただけるID・パスワードをお渡しいたします。IDとパスワードは初回ログインより14日間ご利用いただけます。

### 利用要件

市内在住・在勤・在学の有効な図書館利用カードをお持ちの個人利用者(相互利用の方、団体登録者はご利用いただけません)

☎中央図書館 ☎(528)6800

立川市の  
歴史と  
文化財

53

## 多摩川の砂利採取



砂利線(明治時代末)

多摩川で採取された砂利は、鉄道を使って都心部まで運ばれた。

現在の立川市は多摩地区の交通の要衝であり、特に立川駅周辺は大きな商業ビルやオフィスビルが建ち並んでいます。その風景からは想像もつかないかも知れませんが、『立川の生活誌 第三集 多摩川の砂利採取と人びと』(立川市教育委員会 平成10年刊)によると、今からおよそ百年前の大正時代の教科書には、主な立川の生産物は「砂利」と書かれていたそうです。当時の記録によると立川周辺(国立市・昭島市を含む)には砂利採取業者が7社あったそうです。砂利は建築資材のコンクリートや、交通インフラである道路のアスファルト舗装・鉄道のバラスト(砕石)などに利用され、近代化・都市化には欠かせないものでした。

多摩川の砂利は硬質で丸いことから、良質で有名でした。明治22(1889)年に甲武鉄道(現JR中央線)が開通すると、鉄道という大量輸送手段を得て、砂利の一大消費地である東京都心に近いため、輸送料も安価で済み、立川では砂利採取が大規模に行われるようになりまし。日本近代化が進むにつれ、砂利の需要は増大しました。特に大正12(1923)年の関東大震災後の復興に際しては大量の砂利が採取されました。昭和5(1930)年に起きた昭和恐慌により日本は不景気になり、その後、昭和16(1941)年に太平洋戦争が勃発すると、砂利の需要は低迷しました。そのためか、昭和20(1945)年ごろに多摩川支線は廃止になりました。終戦(昭和20年)後には米軍の基地整備や戦後復興によって、再び砂利の需要は増大しました。しかし砂利採取が盛んになるにつれ、多摩川の河床低下が目立つようになり、用水路の取水や橋の安全性に影響が出るようになりまし。多摩川での砂利採取は昭和初期から規制されていまし。今から60年前の昭和39(1964)年には、商用の砂利採取は全面的に禁止となったのです。

多摩川での砂利採取は、東京、ひいては日本の近代化を陰ながら支えてきたといえるでしょう。冒頭で引用した『多摩川の砂利採取と人びと』は、今ではもう忘れられてしまっている砂利採取についての聞き取り調査の記録です。ご興味のある方はぜひお手にとりご覧ください。

明治24(1891)年ごろ、立川・日野間に架かる多摩川鉄橋の手前にポイントを設け、下流側に砂利を運

歴史民俗資料館 生涯学習推進センター文化財係 ☎(525)0860

